

農地をつなげる、もっと身近に。

2020年2月10日発行

No.28

十日町市農業委員会

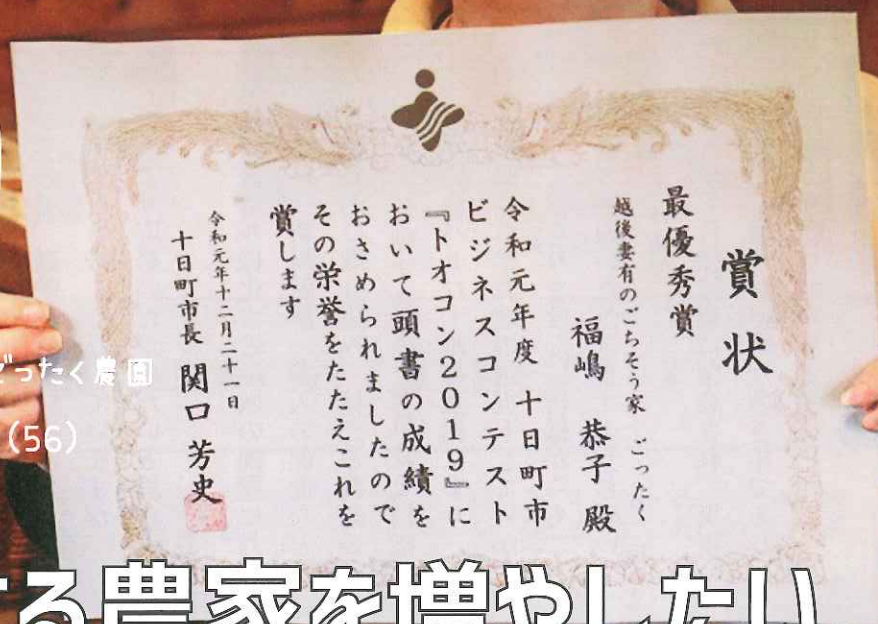
妻有のきずな

十日町市 農業委員会だより



越後妻有のごちそう家ごったく / ごったく農園

福嶋 恭子 (56)
ふくしま きょうこ



チャレンジする農家を増やしたい

十日町市主催のビジネスコンテスト「トオコン2019」の本選会が12月21日(土)に開催され、女性農家の6次産業化への取り組みを支援する加工施設建設を提案した福嶋恭子さんが、見事最優秀賞に輝いた。

福嶋さんのプランは、空き家を利用し、誰でも使える共同の食品加工所とするだけではない。肝となっているのは、勉強会などに取り組むワーキンググループの運営だ。実は全国各地、共同利用加工所は存在するのだが、うまく機能していないところもあり、その原因は、建物というハードだけではなくネットワークや仲間といった、成長し合い高め合うソフトがないことだと気付いた。加工に挑戦したい女性農家たちの、チャレンジへの不安を取り除くために、加工所とワーキンググループの二本柱をまわすことで、この地でチャレンジする女性を増やそうとしている。

「トオコンをきっかけに、加工所を使いたい!」とっていただくことがより増えた。待っている人たちのために、早く形にできればと思います。」と意気込みを語った。

年頭のご挨拶

十日町市農業委員会 会長
村山 隆義



向春の候、穏やかな年明けを迎え、皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平成から令和に変わり、庚子年で干支も最初の年となりました。近年は、異常気象による災害が多く、農業を取り巻く自然環境は厳しくなってきております。昨年は、干ばつや高温障害などのため作物に被害が出てしまいました。水稲においては、過去に例を見ない品質低下による収入減少に見舞われました。今後は気象変動に耐えられる技術や、土づくりがこれまでに以上求められます。

さらに、「需要に応じた生産・品質向上」により選ばれる産地を目指し、激しい産地間競争に生き残っていかなくてはなりません。このため、品種の多様化、園芸作物の導入など、



定期総会の様子

複合化による経営の安定化も求められてきています。

さて、私も農業委員会は、農業委員二四名、農地利用最適化推進委員三三名で、遊休農地の発生防止・解消、農地利用の最適化の推進、利用集積・集約化など「人・農地プランの実質化」に取り組んでいくところです。本年は委員改選の年となりますので、高齢化や担い手不足等地域の状況も厳しくなっていますが、皆様より応募いただきたいと思います。

今後多様化する地域の課題に対応した、新規就農・参入の促進などに積極的に取り組み、見える農業委員会、行動する農業委員会を目指し、農地パトロールの強化により、今後残すべき農地の選択もしていかなくてはなりません。皆様からご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

本年も皆様健康に留意され、災害もなく、穏やかで稔り多き年でありますようお願いいたします。

全国農業新聞、お試し無料購読

全国の最新農業情報がほしいなら やっぱり全国農業新聞！

3ヶ月間
無料お試し購読実施中！

発行：毎週金曜 購読料：1ヶ月 700円（年間 8,400円）

発行元：全国農業会議所

購読、お試し購読の申込はお近くの農業委員会へ

新潟県農業委員会大会



川 田 正

(推進委員)

新潟県農業委員会大会が十一月十九日、長岡市立劇場に県内農業委員及び推進委員が参集し、開催されました。

先ず農業委員会憲章の斉唱が全員で行われ、続いて永年勤続表彰では、十日町市農業委員会から佐藤三代治委員が二十年表彰を受けられました。

その後の講演では「農業委員会組織を巡る情勢と農地利用最適化の推進」と題し、全国農業会議所の柚木茂夫専務理事から①農業農政を巡る情勢と課題、②農地利用の最適化に向けた農業委員会活動の強化、③農地の利用管理及び遊休農地対策の対応が喫緊の課題とし、最後に大規模法人と小さな農業についても講演がありました。

中山間地は農道水路の管理等、共同作業が欠かせません。地域の実状に則したバランスのとれた政策が必要だと思います。大会は議案決議のあとガンバローを三唱して閉会しました。



永年勤続表彰の様子



大会の様子

農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出しました



元和元年十一月六日に担い手育成、農地利用集積・集約対策、中山間等地域対策、農業経営等への支援対策などについてまとめた「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を提出しました。農業委員会からは、村山会長ほか役員二名が出席し、委員会活動の中で農業者から受けた相談などを踏まえ、十日町市独自の施策への取組や課題解決のための取組について、関口市長に要望し、意見書を手渡しました。



新潟県農業委員会大会において、十日町市農業委員会からは佐藤三代治委員が永年勤続表彰されました。

勤続 20 年以上

佐藤 三代治 農業委員 (水沢地区)



農業委員・農地利用最適化推進員を募集しています

令和2年7月19日をもって、現在の農業委員・農地利用最適化推進委員の任期が終了します。このため、農業委員会では下記のとおり、各委員を募集しています。推薦及び募集概要のほか、今後のスケジュールをお知らせします。

	農業委員	農地利用最適化推進委員
定数及び選出方法	24名（うち利害関係を伴わない者1名） 委員の過半数が認定農業者であること	33名以内 地区別定数 十日町1名、川治3名、 中条4名、下条2名、吉田2名、水沢5名 川西5名、中里5名、松代3名、松之山3名
任命	推薦を受けた者または応募した者の中から候補者を決定し、市議会の同意を得たうえで市長が任命します。	推薦を受けた者または応募した者の中から選考し、農業委員会が委嘱します。
任期	令和2年7月20日から 令和5年7月19日（3年間）	令和2年7月の委嘱日から 令和5年7月19日（3年間）
委員報酬	月額 35,200 円	月額 32,500 円

■委員の主な業務

- ☐ 総会への出席（毎月1回、25日開催。申請案件の審議・許可、農地権利移動の確認・報告）
- ☐ 担当区域内の農地利用状況調査（農地パトロール）
- ☐ 担い手への農地の集積・集約化の推進、遊休農地の発生防止・解消、農地に関する相談対応
- ☐ 人・農地プランの実質化に向けた活動
- ☐ 農業・農業委員会に関する各種研修会、会議への参加、その他農業委員会の所掌事務

■その他共通事項

- ☐ 推薦及び募集期間 令和2年1月31日から3月2日まで
- ☐ 両委員とも推薦か一般応募によります。
- ☐ 推薦・応募用紙に必要事項を記入のうえ、農業委員会事務局へ郵送または提出してください。
応募用紙は市のホームページまたは農業委員会事務局（各支所事務所）にあります。
- ☐ 応募状況は市のホームページで公表します。

■お問い合わせ・提出先

〒949-8492 十日町市上山己2133番地（中里支所内）十日町市農業委員会事務局 TEL 025-763-2515

編集後記



農業委員会だより「妻有のきずな第28号」をお届けします。昨年は「平成」から「令和」へと変わり、華やかな雰囲気が漂う一方で、豪雨や台風により甚大な被害が各地であり、夏場の猛暑で米の一等米比率の低下など農業にとっても厳しい年でした。今年は本当に良い年になることを願います。【事務局】

農地のお悩み相談は、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員、または農業委員会事務局まで。

十日町市農業委員会事務局

本局（中里）763-2515（直通） 十日町事務所 757-3286（直通） 川西事務所 768-4951（地域振興課直通）

松代事務所 597-2222（農林建設課直通） 松之山事務所 596-3132（地域振興課直通）

発行：十日町市農業委員会 編集：情報部会 印刷：アートプラザムラヤマ